

3. 会議録

(1) 第7回火山研究運営委員会

開催日時：令和2年12月2日（水）10時00分～12時20分

開催場所：zoomによるオンライン開催

議題

前回議事要旨確認

各課題の進捗状況について

今後の動向について

その他

(2) 次世代火山研究推進事業 R2 年度 研究集会

開催日時：令和3年3月2日（火）13:30～16:00

開催場所：zoom ウェビナーによるオンライン開催

プログラム：

13:30-13:40 開会あいさつ・趣旨説明

13:40-13:55 講演 1: 課題 A(JVDN 関連) 防災科研 上田

13:55-14:10 講演 2: 課題 C3(ハザードシミュレーション) 防災科研 藤田

14:10-14:25 課題 3: 課題 D2(桜島の社会実装例) 京大防災研 井口

14:25-14:40 講演 4: 課題 D3(情報ツール) 防災科研 宮城

14:40-14:50 休憩

14:50-15:50 パネルディスカッション：MC 田中淳先生

パネラー 関谷 PA, 岩田委員, 岡山委員, 南沢委員, 中田

15:50-16:00 閉会挨拶

4. むすび

令和3年3月末時点においても、新型コロナウイルス感染症の終息の兆しも見えない状況であり、引き続き不要不急の外出の自粛が呼びかけられている。学会や研究集会、研究者同士の打ち合わせも、オンラインで行うのが普通になっている。このような状況とオンラインシステムである JVDN システムの親和性は高く、利用ガイドの作成などの努力もあって利用者が増え続けている。令和3年3月末時点において、登録ユーザー数は100名近くになり、1月のアクセス数は4000件を超えている。引き続き、JVDN システムの安定運用を続けつつ、普及と利用拡大に努めたい。JVDN システムの利用が進みつつある一方で、課題間や研究分野間の連携が十分に進んでいるとは言えない。これはプロジェクトに参加している研究者が、全体を俯瞰して個々の研究要素の関係を考慮して研究を進めるよりも、個々の要素の詳細を究めることを好む傾向にあるからではないかと考えている。提案した状態遷移図とイベントツリーは、全体を俯瞰して個々の要素の関係性を示す図であり、今後、JVDN システムに加えてこれらを活用することで課題間や分野間連携を進めたいと考えている。